

戦後、食糧難の国民にとって魚が主なタンパク源となり、漁業・水産業には大きな期待がかけられていました。そんな中、1947 年、神奈川県三崎漁港に 1 隻の木造船”第七事代（ことしろ）丸（のちの第五福竜丸）”が進水しました。

1954 年 1 月 22 日、第五福竜丸にとって 5 度目の航海に出た木造船とその乗組員 23 名は、3 月 1 日、マーシャル諸島沖にて”西から昇る太陽”を見ました。西から東へ雲が覆い、白い灰が雨と共に第五福竜丸と 23 人を覆い尽くしました。その灰を浴びた乗組員は、火傷や頭痛、吐き気といった症状を次々に発症しました。

この”西から昇る太陽”は、水爆ブラボーの爆発だったのです。

カツオ漁船として誕生し、改造、被爆、練習船、廃船、展示と現在に至るまで 71 年が経ち、第五福竜丸が語る平和への想いとは何なのか。

今年の平和企画展は、1954 年 3 月 1 日、マーシャル諸島・ビキニ環礁での水爆実験ブラボーにより被害を受けた木造船・第五福竜丸に焦点を当て、6 月 27 日（水）から 7 月 1 日（日）までの 5 日間、カルスタすぎとにて「杉戸町平和企画展」を開催しました。

■ オープン展示 [入場無料]

期間 6 月 27 日（水曜日）～7 月 1 日（日曜日） 9 時～21 時 ※最終日は 17 時まで

場所 カルスタすぎと オープンギャラリー

内容 第五福竜丸の写真展示、説明パネル展示、その他レプリカ等の展示

【特別展示】スタジオジブリ美術監督男鹿和雄さんが描いた第五福竜丸

■ 講演会 [入場無料]

日時 7 月 1 日（日曜日） 13 時 30 分～15 時 30 分（開場／13 時 00 分）

場所 カルスタすぎと 多目的ホール

内容 講演「第五福竜丸と核被害 ～核なき世界への船出～」

講師／都立第五福竜丸展示館主任学芸員 安田和也 氏

定員 250 名（事前申込不要）

主催／杉戸町

共催／杉戸町国際交流協会

後援／杉戸町教育委員会、学校法人昌平学園 昌平中学・高等学校

協力／都立第五福竜丸展示館、公益財団法人 五福竜丸平和協会



平成30年度杉戸町平和企画展

第五福竜丸

～死の灰を浴びた木造船が語るもの～

6.27(Wed) - 7.1(Sun)

9:00 - 21:00 最終日は17:00

《オープン展示》

日時 平成30年6月27日(水)～7月1日(日)
9:00～21:00(最終日は17:00)

会場 カルスタスぎと オープンギャラリー

内容 第五福竜丸の写真展示、説明パネル、その他レプリカ等の展示など

◆特別展示◆

～男鹿和雄さんが描く第五福竜丸～

第五福竜丸建造70年を記念して、スタジオジブリの美術監督男鹿和雄さんが書き下ろした第五福竜丸の絵を展示します。

《特別講演》

「第五福竜丸と核被害～核なき世界への船出～」

日時 平成30年7月1日(日) 13:30～(13:00開場)

講師 都立第五福竜丸展示館主任学芸員 安田 和也 氏

会場 カルスタスぎと 多目的ホール

入場無料(事前申込不要)

定員250名 ※満席となる場合もございますので、予めご了承ください

◆プロフィール◆

安田 和也(やすだかずや)

都立第五福竜丸展示館主任学芸員、公益財団法人第五福竜丸平和協会事務局長、ノーモアヒバクシャ記憶遺産を継承する会理事、中央大学・恵泉女学園大学兼任講師。1953年那覇生まれ東京育ち65歳。おもな著作、『水爆プラボー』豊崎博光氏と共著、『フィールドワーク第五福竜丸展示館』市田真理氏と共著、『第五福竜丸は航海中』など編著ほか。



共催/杉戸町国際交流協会 後援/杉戸町教育委員会、学校法人昌平中学・高等学校
協力:東京都立第五福竜丸展示館 公益財団法人第五福竜丸平和協会

主催・問合せ 杉戸町住民協働課 Tel:0480-33-1111

平成 30 年度 杉戸町平和企画展
「第五福竜丸 ～死の灰を浴びた木造船が語るもの～」

来場者アンケート集計結果

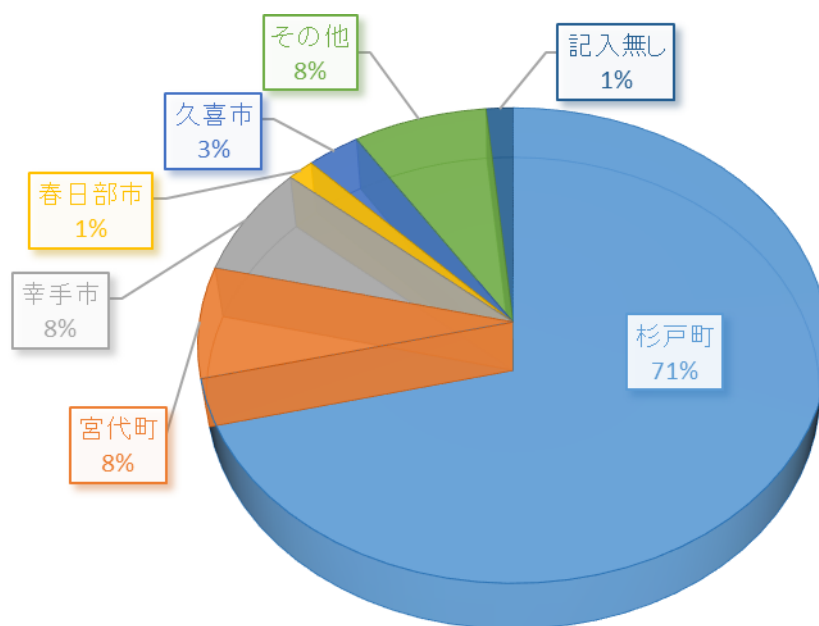
開催期間：平成 30 年 6 月 27 日（水）～ 7 月 1 日（日） 9 時～21 時

開催場所：杉戸町生涯学習センター カルスタすぎと

・ アンケート回収数

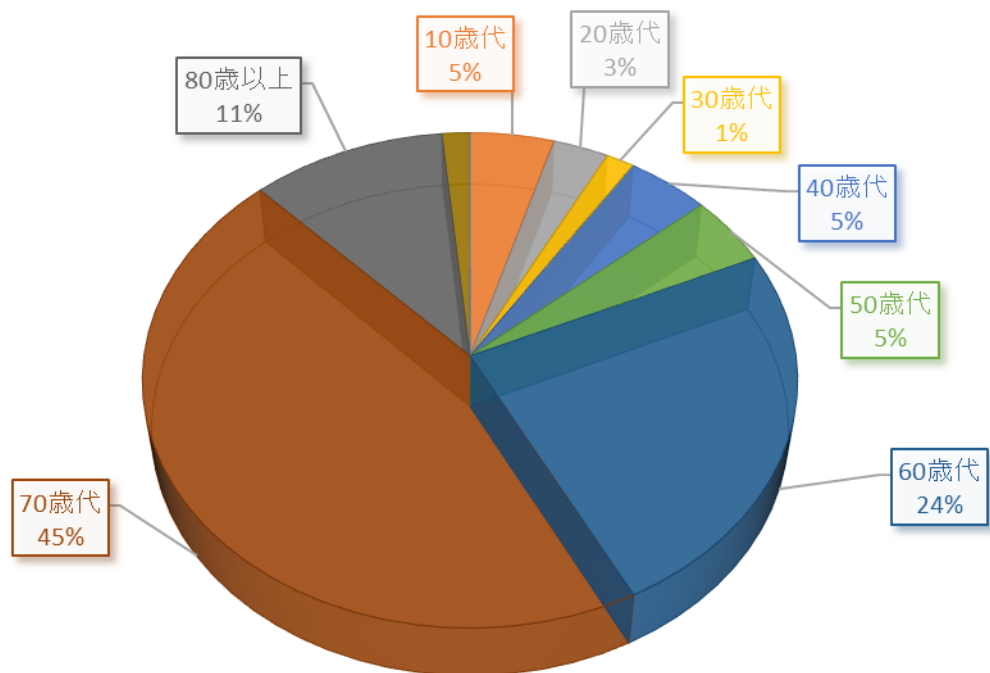
項目	回収数
展示用（6/27～7/1）	36
講演会用（7/1）	30
合 計	66

1. お住まいの市区町村はどちらですか？

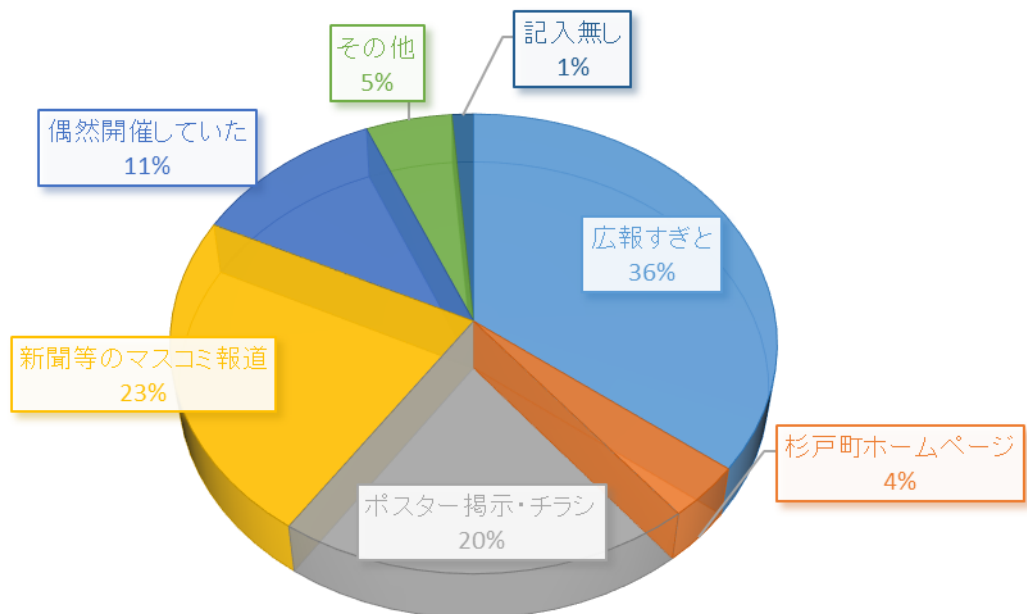


「その他（8%）」の内容：所沢、蓮田、さいたま市、川口市

2. あなたの年齢（年代）は？

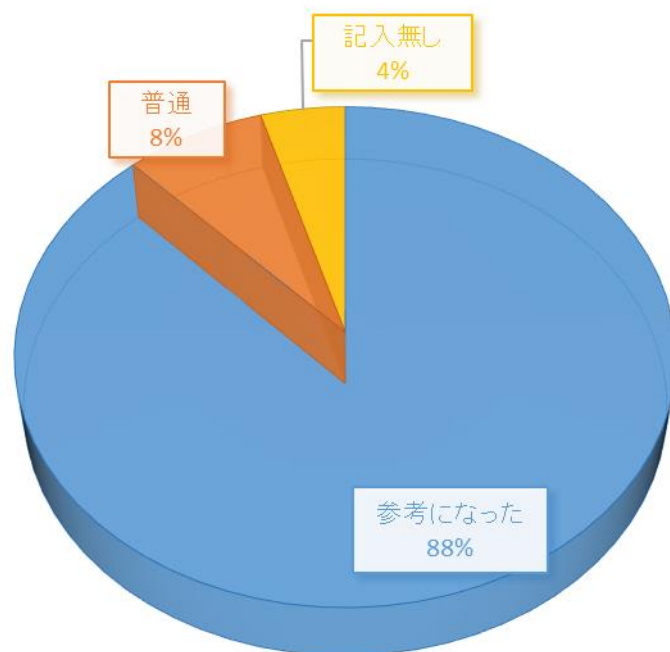


3. 平和企画展の開催を知ったきっかけは？【複数回答可】

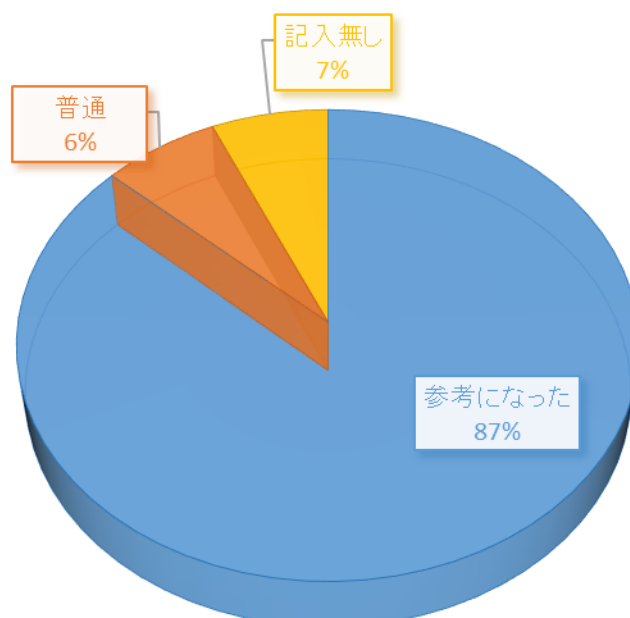


「その他（5%）」の内容：友人から誘われて、ふるさと通信

4. 企画・展示の内容はいかがでしたか？



5. 講演会はいかがでしたか？



6. その他、今回の平和企画展に対する感想・意見等（要約）

- ・ 充実した展示だと思います。（70 歳代）
- ・ 杉戸町でも一日も早い非核宣言都市にしてください。毎年平和企画の催しはいいことです。第五福竜丸展示館見学へバスを何台でも出し、町民に多く見てほしい。（70 歳代）
- ・ 「平和の大切さを考える機会」として、こうした企画をさらに充実させてほしい。又、核なき世界をつくらなければならないと思いました。参加者が少なく残念です。（60 歳代）
- ・ 久しぶりに第五福竜丸関連の展示を見ました。北朝鮮の非核化問題、原発再稼働の件など、核の問題は今も続いています。この船の事を若い人たちにも、もっと知ってほしいです。（50 歳代）
- ・ 話は聞いています。反対運動が起きても無くならないのはなぜ？（70 歳代）
- ・ かわいそうね。二度とダメ。（70 歳代）
- ・ 世界から戦争、核がなくなり平和な世界になるよう歴史に学ぶのに大いに参考になります。（70 歳代）
- ・ とてもわかりやすかったです。（10 歳代）
- ・ 考えさせられました。（40 歳代）
- ・ 学校教育等離れて久しかったので過去の凄惨な出来事を振り返ることができてありがたかった。（20 歳代）
- ・ 第五福竜丸の曲があり、すごく思い出しました。すごく身になりました。学校で広めて、今後戦争が起きないことを祈ります。（10 歳代）
- ・ 放射能の恐ろしさに改めて怒り、くやしき等を感じた。アメリカもほかの国々日本含めて、人間の生を深く考えなければ人類の幸福はそう長くはないと感じさせられた。2 枚の絵画には男鹿和雄さんそして乗組員、家族の心が描かれていて感動。ありがとう。これからの人生に思うものあります。（70 歳代）
- ・ 嫁に誘われてカルスタに行ったら展示されていました。自分たちが小さかったので、何となく覚えていました。本当に運が悪かったと思いました。（70 歳代）
- ・ 古希を迎えたこの船の運命を感じました。色々な人の気持ちが通じて平和を願う象徴になっていると思いますが、若い人たちにもぜひ見てもらいたいものです。（60 歳代）

- ・ 勉強になりました。もう二度と被爆者をつくってはいけない。核兵器をなくすようにしなければいけないと思った。(60 歳代)
- ・ やはり「核」反対です。もっと大々的に県内全域～全国で展示してほしいです。(70 歳代)
- ・ 50 年くらい前に夢の島で見たことがある。(70 歳代)
- ・ 今の時期、このような企画はすばらしい。久保山さんの遺骨が返ってきた 9 月 25 日、静岡駅で当時の静岡大学生（自分も含め）は原爆を許すまじの歌を歌った記憶がある。(80 歳以上)
- ・ 大変に勉強になり感謝申し上げます。今度は夢の島へ現物を見学させていただきたいと思います。(80 歳以上)
- ・ 思い出しました。戦争反対！（80 歳以上）
- ・ 私が 5 歳くらいの時のことで、このことは覚えていた。長じて、核がなくなればいいなと思うようになりました。(60 歳代)
- ・ 大変良い企画です。今後も平和に関する企画を続けてください。講演会もありがたいです。(60 歳代)
- ・ 平和運動は核反対ではなく、核理解と核対応ではないか。もっと核を研究して、人には治療を、地球には核の中和処理を、それが求められると思う。反対しても無くならない。なくならなかった。(40 歳代)
- ・ 原水爆の恐ろしさを再認識させられました。このような事を繰り返してはいけないと痛切に感じました。(60 歳代)
- ・ 悲惨な事が繰り返さなれない為にも事実を広める必要があると痛感します。会場に来られない人のために、来た人が周りの人に伝えるために写真撮影禁止になっているのが残念な気がします。(70 歳代)
- ・ よくこの事件を覚えており、若い時は何人かで夢の島に見学に行きました。無念。無残。日本の立場の歯がゆさが今再び怒りとなります。これからも知らなかった人のために是非教えてください。ご冥福をお祈り申し上げます。(70 歳代)
- ・ 3 月のビキニデーに出展されたい。(80 歳以上)
- ・ 南砂町の展示館で第五福竜丸を見学しました。15 年前です。(70 歳代)

【講演会をお聴きいただいた方々の声】

- ・ 信じられない大変な原水爆の被害の 23 名の方々お気の毒に思います。

核なき平和を願います。(70 歳代)

- ・ 講演会も含めて町民の関心が薄いのが残念です。このようなイベントを学校教育の場で知らせ若い人たちが日本の核のあり方を議論させることが必要です。(70 歳代)
- ・ 改めて水爆実験の恐ろしさを認識しました。もっと国民に知らせる必要がある。忘れてはいけない。(60 歳代)
- ・ 2 年前に第五福竜丸展示館に行きました。その際に今日の講演内容を聞きました。それまでよく知らずに、とても恥ずかしく思いました。ニュース映像も見せていただきありがとうございました。(60 歳代)
- ・ 大変素晴らしいご講演でした。これを機に、平和について自分なりに考えたいと思います。(30 歳代)
- ・ 第五福竜丸の漁船の他の数百の船の被害の救済はどうなったのか？(70 歳代)
- ・ 国際会議での日本参加が無いのが非常に残念です。(70 歳代)
- ・ 大変良かったです。ありがとうございました。(60 歳代)
- ・ 第五福竜丸の展示館にいつか行ってみたいと思いました。(60 歳代)
- ・ 親切な話ありがとうございました。(60 歳代)
- ・ 核問題を考える良い機会となりました。(70 歳代)
- ・ 講演会に深い感銘を受けました。(70 歳代)
- ・ 第五福竜丸の本体を見学したい。(行こうと思います。)核なき世界、早く実現を！(70 歳代)
- ・ やはり平和は大切だと思います。(70 歳代)
- ・ 今日までの知識の無さを身に染みて聞いていました。ありがとうございました。(70 歳代)